

2009年8月11日

地域サッカー協会専務理事各位
都道府県サッカー協会専務理事各位
地域サッカー協会審判委員会委員長各位
都道府県サッカー協会審判委員会委員長各位

(財)日本サッカー協会審判部

8人制サッカーのルールについて

別紙のとおり、8人制サッカーのルールを制定しましたのでお知らせいたします。
加盟クラブ、チーム、審判員等関係者に周知徹底を図られるよう、よろしくお願いいたします。

(写)

日本サッカー協会審判委員会委員各位

8人制サッカーのルール

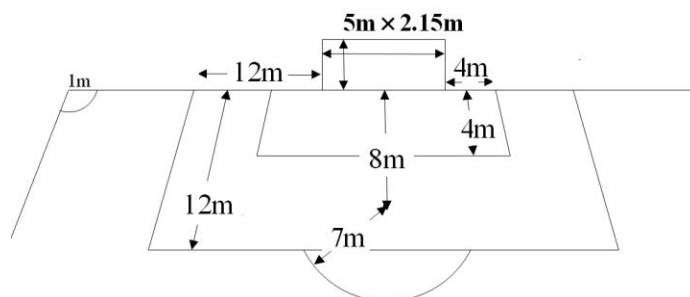
ユース年代、低年齢層の競技者が多くの試合をプレーするためにはリーグ戦が不可欠である。リーグ戦文化の醸成は日常のサッカー、スポーツ文化の発展に寄与する。特に小学生年代の競技者は、生活圏レベルで数多くの試合を楽しむことが求められる。

小学生年代の子供たちが楽しみ、成長できるサッカーやフェアプレー精神が育まれることを念頭に、現在のサッカー競技規則をベースとして、小学生年代の選手のための8人制（少人数）サッカーのルールを制定した。このルールに基づき、サッカーがこれまで以上に、日常的に楽しめるようにしていただきたい。

競技のフィールド

- ① 表面： 芝、人工芝が望ましいが、土等でも可能とする。
ただし、競技者が転倒等により負傷しやすい表面は、認められない。
- ② 大きさ： 68m×50m（大人のサッカー場の半分：2面のフィールドが設置可能）を推奨するが、使用可能試合会場の大きさによって、修正しても良い。
- ③ ペナルティーエリア等：

ペナルティーエリアの縦 =	12m
ペナルティーマーク =	8m
ペナルティーアークの半径 =	7m
ゴールエリアの縦 =	4m
センターサークルの半径 =	7m



センターサークルの半径7m

- ④ ゴール： 5m×2.15m（少年サッカー用ゴール）を推奨する。
 - * 少年サッカー用ゴールがない場合、フットサルゴールを2つ並べて1つのゴールとしたり、コーンによる代用したりすることは可能とする。
その場合、2つのゴールの中央のポストに当たった場合やコーンの上部の仮想クロスバー下をボールの全体が通過した場合、主審は得点を認める。
 - * ゴールは、競技者が負傷しないよう安全に設置しなければならない。
- ⑤ 交代ゾーン： 自由な交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける（ハーフウェーラインを挟んで両側に3m）。
交代ゾーンは、タッチラインの外側に30cmの長さで、ラインまたはマーカークーンでマークする。

ボール

少年用の4号球を基本とする。

競技者の数

① 8人(内一人はゴールキーパー)を基本とする。

* 一方のチームが8人に満たない場合、両チーム合意の上、極力両チーム同数とする。

① 交代要員の数は4人～6人を基本とするが、当日の全選手数によって、両チームが事前に合意して、その数を決定する。

- ② 交代の手続き：
- (1) 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールド外に出る。
 - (2) 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - (3) 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず、行うことができる。
 - (4) 交代について、主審、補助審判の承認を得る必要はない。

競技者の用具

① 両チーム、異なる色彩のジャージー（シャツ）を着用する。

* 両チーム、ジャージー（シャツ）の色彩が同じの場合、また、同色彩のジャージー（シャツ）が揃わない場合、ピブスを着用して、対応することができる。

① ゴールキーパーのジャージー（シャツ）色彩は、両チーム同じでも良い。

② ジャージー（シャツ）に背番号を付ける必要はない。

③ 競技者は靴を履く必要があるが、その種類は問わない。

④ すね当ては着用する。

⑤ 競技者の用具はその競技者のみならず相手競技者にとっても安全なものでなければならず、試合開始前、競技者および交代要員の用具が主審または補助審判によって検査される。

⑥ 眼鏡については、主審が安全であると判断したものは、着用できる。

主審

① 試合は、1人の主審によって運営される。

② 主審は、フェアプレー精神あふれた行動やリスペクトある行動をとった競技者にグリーンカードを示す。

* グリーンカードは、試合開始前から試合中、また試合終了後であっても、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず、示すことができる。

補助審判

① 試合には、補助審判1名が指名される。

② 補助審判の任務は、次のとおりとする。

- (1) 主審によって要請された試合前、中、後の管理上の任務を援助する。
- (2) ボールの交換を管理する。
- (3) 交代の手続きが円滑に行われるよう、主審を援助する。

- (4) チーム、競技者が試合中にフェアプレー精神あふれる行動やリスペクトある行動を取っていたのを見た場合、主審に知らせ、主審がグリーンカードを示す援助をする。
- (5) 警告する競技者の特定を間違えて別の競技者が警告されたときや、2つ目の警告が与えられたにもかかわらずその競技者が退場させられないとき、また主審の見ていないところで乱暴な行為が起きたとき、主審に合図する。

試合時間

- ① 前、後半それぞれ 10～15 分間を原則とする（年代によって変更できる）。
- ② ハーフタイムのインターバルは、5 分間とする。
- ③ 3 ピリオド制とした場合、3 ピリオド目の中間点に、両チーム攻めるエンドを替える。

プレーの開始および再開

キックオフから直接相手のゴールに入った場合、相手にゴールキックが与えられる。

ファウルと不正行為

競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。

フリーキック

ボールがインプレーになるまで、相手競技者は、7m以上ボールから離れる。

スローイン

相手競技者は、スローインが行われる地点から 2m以上ボールから離れる。

コーナーキック

ボールがインプレーになるまで相手競技者は、7m以上離れる。

延長戦および PK 方式（勝者を決定する必要がある場合）

- ① 前、後半それぞれ 3 分間ずつの延長戦を設けることができる。
- ② PK 方式において、両チーム 3 人ずつの競技者がキックを行ったのち、両チームの得点と同じ場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで、交互に順序を変えることなく、キックは続けられる。

このルールに規定されていない事項については、(財)日本サッカー協会制定のサッカー競技規則を準用する。